

J R 西労組・乗務員の再教育についてのアンケート結果（概要）

2005年6月15日

1. 実施要領

- | | |
|-------|-----------------------|
| ○ 期間 | 2005年5月24日～31日 |
| ○ 対象者 | J R 西労組所属の運転士（3,132名） |
| ○ 集約数 | 3,025名（集約率97.0%） |

2. 集約結果の概要 ※ 過去3年間について質問

Q1. 再教育（日勤での教育）を受けたことがあるか

	回答数	割合
ア. はい	1,101	36.4%
イ. いいえ	1,926	63.6%

◇ 36%が過去3年間に再教育を受けたと回答

※ 以下、再教育を受けたことがあると回答した方に質問

Q4. 再教育の内容について、どう感じたか

	回答数	* 割合
ア. 運転ミスを補完する再教育内容であり納得できた	262	24.6%
イ. 全く趣旨から外れている内容であり、納得できない	227	21.3%
ウ. 改善すべきと思ったが、趣旨から外れているとはいえず	577	54.1%

* 有効回答数（1,066名）に対する割合（無回答を除く）

◇ 「改善すべきと思ったが、趣旨から外れているとはいえず」との受け止め方が過半数。
「納得できた」が25%、「納得できない」が21%

Q5. 再教育の内容は具体的にどのようなものだったか（複数回答）

	回答数	* 割合
ア. 反省文、レポート	954	86.6%
イ. 作業規程、就業規則などを基に指導を受けた	297	27.0%
ウ. 車両を使った添乗指導など	175	15.9%
エ. 反省文、レポートや規程等を繰り返し書き写すなど	225	20.4%
オ. その他**	135	12.3%

* 再教育を受けた者（1,101名）に対する割合

** その他…掃除（14件）、知悉度テスト（5件）、読書感想文（4件）、草取り（2件）

- ◇ 9割近くは反省文、レポートを作成。2割には繰り返し行われている
- ◇ 添乗指導など実践的な訓練を受けている割合は16%
- ◇ 一部報道にある掃除や草取りなどはごくわずかながらある。なお、草取りは、助役も立会い職場の環境整備の一環として実施されているのが実態

Q6. 再教育で次のような（不適切な）ことがあったか

	回答数	* 割合
ア. あった	413	40.0 %
a. トイレにも行けない軟禁、監禁状態**	29	2.8 %
b. 「見せしめ」的扱いを受けた	275	26.6 %
c. 管理者などから罵声を浴びた	214	20.7 %
d. その他	38	3.7 %
イ. なかった	620	60.0 %

* 有効回答数（1,033名）に対する割合（無回答を除く）

** 「トイレにも行けない…」とは、「トイレに行くときは声を掛けてから行くこと」と指導されていた

◇ 4割は何らかの不適切な対応があったと受け止めている。

◇ 再教育を受けた者の中で、27 %が見せしめの扱いを受けた、21 %が罵声を浴びた、と回答している

Q7-1. 再教育を受けた期間について納得できたか

	回答数	* 割合
ア. 納得できた	499	47.8 %
イ. 納得できない	198	19.0 %
ウ. どちらともいえない	348	33.3 %

* 有効回答数（1,045名）に対する割合（無回答を除く）

◇ 約半数は「納得」、2割が「納得できない」、3割が「どちらともいえない」と回答

Q7-2. 再教育を受けた期間は？

	回答数	* 割合
ア. 1～3日間	549	52.1 %
イ. 4～7日間	190	18.0 %
ウ. 1～2週間	142	13.5 %
エ. 2週間～1ヶ月	104	9.9 %
オ. 1ヶ月以上	69	6.6 %

* 有効回答数（1,054名）に対する割合（無回答を除く）

◇ 7割が1週間以内であるが、2週間以上の場合も約17%ある

※ 以下は全員が回答

Q8. 運転においてミスをした場合、再教育は必要だと考えるか

	回答数	* 割合
ア. 必要である	378	12.8 %
イ. 現在の内容は改善が必要と思うが、再教育は必要	2,239	75.7 %
ウ. 必要ない	340	11.5 %

} 合計
88.5%

* 有効回答数（2,957名）に対する割合（無回答を除く）

◇ 13%が「再教育は必要」、76%が「改善が必要だが再教育は必要」と回答し、合計すると、9割が再教育の必要性は認識している

◇ 「再教育は必要ない」とする回答は12%にとどまる